

(単位：千円)

産業観光局予算要求の内容			検討が必要な事項
事業名	事業概要	要求額	
おこしやす月間事業 (仮称)	入洛観光客5000万人達成のため、年間で最も観光客数の少ない12月を京都のまちを挙げて観光客をもてなす月間とし、観光施設、ホテルや旅館など観光業界を通じて、様々な特典を付与するパスポート形式の冊子を作成・配布し、様々な特典が受けられることを全国にPRしていく。 <成果目標> 2月の観光客数対前年比10%、20万人増	12,000	公民等役割分担の検討 既存施策との整合性検討 事業内容・実施手法の検討 後年度財政負担の検討
科学技術の市民理解増進事業	京都市が重点的に取り組む産学公連携プロジェクトを中心に、その開発した技術が医療や環境を始め、市民生活の様々な分野でどのように活用されているかを市民に発信し、科学技術の市民理解・啓発を推進する。 <成果目標> 競争力ある新事業の創出や次代を担う人材育成を通して、絶えざる技術革新を生み出す仕組み～革新への挑戦を続ける科学技術都市～の構築を目指す	2,000	公民等役割分担の検討 既存施策との整合性検討 事業内容・実施手法の検討 後年度財政負担の検討
工程別技術調査及び原材料・道具調査	工程別技術者調査の実施により、技術者が不足している工程及び技術者の動向を把握し、技術後継者の育成支援を検討するとともに、併せて原材料・道具に関する現況調査を実施し、原材料の入手先の検討や道具の開発等を検討する。 <成果目標> 調査結果を20年度以降の新事業につなげることで伝統産業の活性化を図る	5,000	公民等役割分担の検討 既存施策との整合性検討 事業内容・実施手法の検討 後年度財政負担の検討
京もの合同展示会(仮称)の実施	現在、伝統産業業界では、それぞれ個別の業界ごとに展示会やイベント等を開催していることから、集客力やアピール力が不足している。そこで、京都の伝統産業製品である72品目を一堂に会した大規模展示会・イベント等を首都圏で実施し、集客力、アピール力を向上させ、京都の伝統産業の価値や魅力を全国に発信する。 <成果目標> 来場者数10万人	120,000	公民等役割分担の検討 既存施策との整合性検討 事業内容・実施手法の検討 後年度財政負担の検討

この一覧表は、事業実施の意義は認められるものの、「検討が必要な事項」欄に記載した課題があるため、財政非常事態の下では、限られた財源を他の事業に振り向けざるを得ず、予算措置を見送った事業を掲載したものです。